

大分東部地域まちづくりビジョン フォローアップ会議通信

第5号

この通信は、大分東部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容を東部地域の皆様にお知らせして、今後のまちづくりの取組につなげるためのものです。

『地域まちづくりビジョン』とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取組をまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、2018(平成30)年7月に市長に提言されました。

◎東部地域におけるまちの将来像・『緑豊かな東部地区 子どもに高齢者にやさしいまちづくり』

○将来像実現に向けた提言

提言1:安全・安心に暮らせるまちづくり

大分東部地区は、津波等の災害が発生した際は浸水が想定されています。災害が発生した際に、子どもや高齢者、体の不自由な方が迅速に避難できるよう体制の強化に取り組むほか、通学路にも危険な箇所も多いことから交通安全対策に取り組むなど安全・安心に暮らせるまちづくりの推進を望みます。

《提案事業》

- ①避難行動要支援者対策事業 ②交通安全対策の推進(自転車のマナー教育)

提言2:地域コミュニティの活性化の促進

地域間交流の不足や高齢者の引きこもりなどにより、地域コミュニティの希薄化が問題になっています。イベントなどを通じてより多くの人に地域活動への積極的な参加を促すことをはじめ、お年寄りや地域の子どもなど3世代がみんなで集まりふれあえるような場の提供や、拠点となる公民館の機能の強化を図るなど、地域コミュニティの活性化を図るための支援を望みます。

《提案事業》

- ①祭りなどのイベントの開催による地域活性化事業 ②お年寄りによる公園管理事業
- ③緑地帯活用事業 ④オールドパワーバンク
- ⑤みんな集合ふれあい屋(3世代交流事業) ⑥大分東部公民館の機能強化

提言3:地域で子育てがしやすい環境の整備

共働きの世帯が多いことから放課後に子どもがひとりになることも多く、放課後の児童の居場所づくりや、子どもの教育環境の整備を図るなど、地域みんなで子育てをする取組に対しての支援を望みます。

《提案事業》

- ①子どもが活動する場を増やす ②地域の子ども部屋(放課後子ども広場)の開設
- ③出産、子育てがしやすいまちづくり ④子どもの教育レベルの向上

『フォローアップ会議』とは

大分東部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、東部地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「大分東部地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマに分けて、取組状況を報告し、今後の進め方や課題などについて情報共有や意見交換などを行うものです。



自治会長をはじめ、13名の委員が集まりました

【大分東部地域まちづくりビジョン
フォローアップ会議を開催しました】

日時：2023(令和5)年11月16日(木)
19時～

場所：大分東部公民館 大会議室

- 議事：1. 地域まちづくりビジョンについて
2. フォローアップ会議について
3. 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の振り返り
4. 意見交換

地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況及び意見交換の内容(抜粋)

会議では、事業の取組状況を報告するとともに、各地区・校区がそれぞれ特色ある取組事例を発表し、意見交換を行いました。その主な内容を本通信に掲載しています。

◎日岡校区の取組

・通学路の危険箇所について現地確認と情報共有を図り、その改善について要望しました。また、ストップマークの塗り直しを実施しました。

・校区文化祭やグラウンドゴルフ大会、歴史探訪ウォーキングなどを実施しました。12月にはコロナ禍で数年実施を見送ってきたふれあい餅つき大会を計画しており、子どもたちに喜んでもらえればと思っています。

【出された意見】

・現在休止している「放課後に学習や体験ができる安全な場の提供」を目的とした、地域が児童育成クラブと連携しながら運営する『日岡こども広場』を再開してもらえれば、と思っています。



歴史探訪ウォーキング



餅つき大会のようす
数年ぶりに開催できました！楽しそう！！

◎桃園校区の取組

- ・PTA を通じてお祭りやイベントを周知、情報共有することで子ども会に入っている子どもだけでなくみんなが参加できるようになり、行事を通じてコミュニケーションが取れて地域の人たちと顔見知りになれます。
- ・高齢者によるチーム桃園などを通じて児童と地域が交流を深められ、桃園小学校では1年生から6年生まで畑仕事や米作りなど貴重な体験ができています。
- ・朝ご飯を食べてくることが少ない子や共働きで夕ご飯を家族と一緒に食べられない子が多いと聞き、「フードドライブ」という、家庭で使っていない食材を地域で呼びかけて持ち寄り、子どもたちに配布しました。将来的には居場所づくりや人とご飯を一緒に食べる楽しさを感じてほしいと考えています。
- ・コロナ禍でみんなが集まらなかったときに始めた花火大会を4月に桃園公園で実施しました。今回は地域のみんなや子どもたちも公園に集まりみんなで鑑賞することができました。また、子どもたちの進入学や卒業のお祝いの意味も込めました。



小学生の稲刈りのようす

【出された意見】

- ・桃園校区はPTAと地域と学校の連携が取れている特色のある地域でまちづくりがうまくいっていると感じました。



桃園幼稚園の園児による収穫のようす(写真左は芋ほり、写真右はジャガイモの収穫)

◎東大分校区の取組

- ・東大分は場所によって高低差があるので津波に対する備えが必要なエリアと土砂災害に対する備えが必要なエリアとが混在しています。平成30年にはそれを基本とした防災マップを製作して校区の全世帯に配布しました。
- ・防災体験会を年2回実施しています。体験会では、地震時の耐震装置などの説明を受けたり、非常食を実際に作って試食体験をしました。また被災時の避難生活が長引くと運動不足になりがちなので、「フレイル体操」という簡単にできる体操を体験しました。
- ・災害時の避難先の把握の手段として防災無線を整備しました。今後は災害時の混乱の中で各人の避難先や安否確認を素早くできるような形に発展させていきたいと考えています。



非常食を実際に作って試食しました。

【出された意見】

最近は大きな災害がないですが、非常に大事な防災対策について主体的に取り組まれていると感じました。



被災時の避難生活が長引くと運動不足になりがちです。簡単にできるフレイル体操を体験しました。



地震に備えてタンスの固定や倒壊防止装置などの展示紹介で災害防止策を身近に感じました。

◎津留地区の取組

- ・『鯉の泳ぐまちづくり』をテーマに春、桜が咲くころに、平和市民公園の裏川に鯉のぼりを掲揚して地域の人たちが集うとともに、訪れる人々がにぎわい、元気を持ってもらえればと考えて活動しています。
- ・『まつりつる』というお祭りで新たな試みとして「面白かかし」を製作して展示しました。この試みが地域に広がり将来は面白かかしコンテストが出来れば、と考えています。
- ・子ども会が減っていく中で子どもたちに興味を持ってもらえるように行事やイベントに趣向を凝らし工夫しながら頑張っていきたいと考えています。
- ・『甚吉物語』という地域の民話をもとに「甚吉音頭」「甚吉ばやし」を地元の手で作りました。これを地域に継承していきたいと考えています。

【出された意見】

- ・企画する力、実行する力、そしてそれを支援する体制が整っていて地域としてチームワークがとれているので活発な特色ある活動ができているのではないかと感じます。



甚吉ばやしを踊る甚吉クラブの皆さん

平和市民公園の裏川で気持ちよさそうに泳ぐ鯉のぼりのようす

■今回覧物は大分市ホームページにも掲載しています。

【問い合わせ先】大分東部公民館 (TEL)556-8818